

2024年2月

# 高松市中央図書館報

Newsletter from Takamatsu central library



図書館ですてきな出会い人と本

は すい  
川瀬巴水

今回は美術館の特別展をご紹介します！  
～学芸員の橘さんにお話を伺ってきました～

現在、高松市美術館で開催中の特別展「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」では、大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水（1882～1957）の作品 180 点を紹介しています。近代化の波が押し寄せ、街や風景が目まぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描き出しました。

《芝増上寺(しばぞうじょうじ)》(1925年)は巴水の地元である東京の風景を集めたシリーズ「東京二十景」のうちの1点です。ここでは、1923年9月に関東大震災が発生した当時、自宅が近かった巴水が避難した場所でもあります。巴水は震災で家財のほか大切な写生帖を含む画業の成果を失い茫然自失となったといいますが、ともに仕事をしてきた版元の渡邊庄三郎の後押しもあり、再び写生の旅に出かけ制作を再開させました。以降の作品では、鮮やかで明るい色彩が用いられるようになり、巴水作品の人気は国内外で高まっています。特に本作は巴水の画業で最も売れた作品と言われるほどで、白い雪と赤い建物のコントラストを生かした表現は巴水のお得意の手法となりました。

展覧会の会期中には本職の摺師(すりし)による摺の実演(2月18日)や、巴水の作品から連想した曲を演奏するミニコンサート(2月24日)などの関連イベントも開催します。(美術館学芸員:橘美貴)

## 「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」

主 催：高松市美術館  
共 催：四国新聞社  
会 期：2024年1月24日(水)～3月6日(水)  
会 場：高松市美術館2階企画展示室、1階常設展示室1  
休 館 日：月曜日(ただし、2月12日(月・振休)開館、  
2月13日(火)休館)  
開館時間：9時30分～17時  
(但し金曜日、土曜日は19時閉館/入室は閉館30分前まで)  
入 場 料：【一般】1,200円(960円)、【大学生】600円(480円)、  
【高校生以下】無料  
※( )内は20名以上の団体料金  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料



《芝増上寺》東京二十景  
1925(大正14)年  
渡邊木版美術画舗蔵

中央図書館でも、1階中央カウンター前のコーナーで、川瀬巴水の作品や版画に関する本を特集します。【期間：2月1日(木)～28日(水)】この機会に、木版画の世界に触れてみませんか？

『巴水の日本憧憬』川瀬巴水/画 林望/文 河出書房新社 2017年 7330/カワ  
『すぐわかる画家別近代日本版画の見かた』岡本 祐美ほか/著 東京美術 2004年 7321/スク  
『京都・竹筥堂のはじめての木版画』竹中 健司/著 光村推古書院 2011年 7330/タケ

\*中央図書館 2月の休館日のお知らせ\* 5日、13日、19日、26日、29日

# 今月のおすすめ本

2月22日は<ねこの日>です。今月はねこに関する本を紹介します。



『猫のためのDIY家づくり DIYで最高の猫家具をつくる！』  
建築知識 / 編 エクスナレッジ 2023年 / 発行 5927 / ネコ

愛する猫のためについ買ってあげたくなる猫家具。でも家のインテリアに合う家具が売っていなかったり、買って遊んでくれなかったり。そんなお悩みはDIYで解決です。猫家具の基本としての安心安全な家具の作り方や、猫モジュールの把握の仕方などを学び、猫が遊べる家具やお悩みを解決するための家具を作ってみませんか。DIYの基本も載っているので、初心者でも安心です。



『<猫>の社会学 猫から見る日本の近世~現代』  
遠藤 薫 / 著 勁草書房 2023年 / 発行 6457 / エン

猫はなぜこれほどまでに人の心を引きつけるのでしょうか。太古からの<猫>イメージの形成と変遷をたどり、江戸時代の招き猫や化け猫にみられる<猫>伝説を紐解き、猫を祀る寺社や猫像・猫碑などの<猫聖地>を巡ります。人間がどのように<猫>というイメージを構成し、現代まで語り、描いてきたのかを見てみましょう。



『おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った 世界ことわざ紀行』  
金井 真紀 / 著 岩波書店 2022年 / 発行 3888 / カナ

世界にはたくさんの言語があり、それぞれの言葉でことわざがあります。タイトルのことわざはフィンランドのもので、「意外なところに道がある、解決策はひとつではない」という意味だそう。この本では、世界36言語のことわざをその文化的背景などとあわせて紹介しています。原文まま(カタカナ読み付)も記載されているので、実際に現地で聞いているような雰囲気も味わえます。

2・3月の展示

「本が泣いている」

期間：2月1日(木)～3月31日(日)

場所：2階 展示コーナー



高松市図書館は多くの市民に利用されている一方で、資料の水濡れや汚損などの被害も数多く確認されています。セロハンテープ等でページの外れたものを留めるなど、悪意はなくとも資料に良い影響を与えない行為や、意図的に破り取られるような被害も発生しています。状態の悪い本や修理方法を紹介することで、図書館資料の利用方法を今一度考える機会としていただけたらと思います。

# 行事予定

## 閉架書庫見学会

約37万点ある中央図書館の閉架書庫をめぐり、本を手にとって見るすることができます。いつもとは違う本に囲まれた空間を体験しませんか。

【日 時】2月18日(日) 午前10時～11時  
(当日は9時55分までに1階ロビーに集合)

【定 員】先着20人  
(保護者同伴であれば中学生以下も可)

【申 込】2月1日(木) 午前9時30分より中央図書館1階カウンター  
または電話にて受付

【問合せ】高松市中央図書館 業務係 TEL (087) 861-4501



## 高松市図書館 ボランティア養成講座

### すべての子どもたちに届ける おはなしの世界

サポートが必要な方への対応や本を選ぶポイント、読み聞かせの工夫を実演を交えてご講演いただきます。

【日 時】2月29日(木) 午後2時30分～3時30分

【場 所】サンクリスタル高松 3階 視聴覚ホール

【講 師】安川 和子氏(香川県立視覚支援学校教諭)  
隈川 裕未氏(香川県立視覚支援学校教諭)

【対 象】図書館ボランティア、ボランティア活動に興味のある方

【定 員】30名(先着順、参加無料)

【申 込】2月1日(木) 午前9時30分より中央図書館1階カウンター  
または電話にて受付

【問合せ】高松市中央図書館 資料係 TEL (087) 861-4501



## 高松市図書館 ボランティア養成講座

### ブックスタートボランティアについて

「ブックスタート」とは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡し、こころ触れあうひとときを持つきっかけをつくる活動です。

【日 時】3月10日(日) 午前10時～正午

【場 所】サンクリスタル高松 3階 第一集会室

【対 象】図書館ボランティア、ボランティア活動に興味のある方

【定 員】30名(先着順、参加無料)

【内 容】・「ブックスタート」とは  
・絵本の選び方、読み聞かせについて など

【申 込】2月14日(火) 午前9時30分より中央図書館1階カウンター  
または電話、専用フォームにて受付

【問合せ】高松市中央図書館 業務係 TEL (087) 861-4501



専用フォームはこちら



# 中央図書館 2月行事予定

・・・休館日

日	月	火	水	木	金	土
イベント等は開催を中止・延期する場合があります。 開催予定は、ホームページや館内掲示でご確認ください。				1	2	3 ●ひよこの学校 11:00~ ●なかよしかみしばい 14:00~
4★よみかかせたい Jr. おはなし会 11:00~	5	6	7●ゆりかご おはなし会 10:30~	8●えいごあそび 11:00~	9	10●おはなしのかけはし 14:00~
11 ★ボランティア養成講座 13:00~	12	13	14	15●わらべうたで あそぼう 10:30~	16	17●コットンツリーのへや 10:30~ ●本さんこんにちは 14:00~
18●えほんくらぶの おはなし会 14:00~ ★閉架書庫見学会 10:00~	19	20●えいごの おはなし会 11:00~	21	22	23	24●伝々虫のおはなし会 10:00~
25●かずこさんの おはなし会 14:00~	26	27●にこにこ おはなしひろば 11:00~	28	29 ★ボランティア養成講座 14:30~		

## 音楽の小部屋



### 『Pagina Central』 MARCOS VALLE & CELSO FONSECA 28/ハリ

ブラジル音楽の巨匠、御年80歳のマルコス・ヴァーリ。彼が2009年にセルソ・フォンセカと組んでリリースしたのが、今回ご紹介する『パジナ・セントラウ』です。

マルコスはボサノヴァ第二世代。ジョアン・ジルベルトやアントニオ・カルロス・ジョビンのボサノヴァに影響を受けてはいますが、彼はサンバを始めとするブラジル音楽とジャズやソウルやAORといった欧米のポピュラーミュージックをクロスオーバーさせることで重要な人物となります。

セルソ・フォンセカは更に下の世代。ジルベルト・ジルやミルトン・ナシメントとの仕事でも知られる実力派シンガーソングライターで、新しい感性でボサノヴァをアップデートし続けています。この両巨頭が組んだ『パジナ・セントラウ』は、本当に心地いいアルバムになっていると思います。

メロウで甘美なメロディと躍動感あるリズムセクション、華やかでゴージャスなストリングスとホーン、どこをとっても極上のブラジルポップスです。

おすすめは1曲目のタイトルナンバー。軽快に疾走する管弦楽曲と鍵盤、スキヤットコーラスが織りなす、映画音楽の様に風景が浮かぶ1曲です。(M)

※このコーナーでは、毎月一枚、音楽好きの図書館員より個人的おすすめCDを紹介していきます。

## 視聴覚だより 2階 AV コーナー

### 特集 「心あたたまる家族の物語」

(DVD)

『オカンの嫁入り』D21/オカ

『弟の夫』D21/オト

『幸せへのキセキ』D11/シア

『父、帰る』D11/チチ

『マイ・ライフ、マイ・ファミリー』D11/マイ

### ＜ピックアップ作品＞

(DVD) 『モリコーネ 映画が愛した音楽家』  
D71/モリ

『ニュー・シネマ・パラダイス』などの数々の映画音楽やTV音楽の作曲を手掛けた天才音楽家、エンニオ・モリコーネ。2020年に91歳で亡くなった彼の生前の姿に密着したドキュメンタリー映画です。